

## =17 回生=

### 1.デザインテーマ：「17回生の今」

### 2.解説：

17回生は1966年から1969年を附設高等学校で過ごしました。

17回生の“人生”を“附設時代”を中心に“それ以前”、“それ以後”と三つの四角形で表現し、“それ以後”つまり現在の17回生の仕事・社会との繋がり・仲間たちとの絆等を17個の大小の四角形で表現、その大きさ・色・重なりは現状を意味します。

デザイン：伊藤嘉晃（裕章）

### 3.記憶：

われわれは団塊の世代の次の年次に当たり、附設高校が設立された年に生まれました。

高校2年最後の春休みを利用しての復活修学旅行の行先は山陰地方でした。出雲大社での参拝、大山でのスキー、そして皆生温泉に宿泊しました。九州ではまだスキーが一般的でない時代でした。大山で初めてスキーを経験した仲間も多かったようです。

入学時の御井町の旧兵舎の校舎から新校舎に移転したのは高校3年生の時でした。暑い中、旧校舎から新校舎へ机等の荷物を自分たちで運んだのも今となれば良い思い出です。

そして卒業時は70年安保の影響で東京大学の入試が中止。東大の受験希望者は今ほどいなかったものの、団塊の世代の浪人生とも相まって、過酷な受験戦争を強いられました。

卒業時は中学が新設され、附設の隆盛を迎えます。